

令和4・5年度 第3回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録

日 時：令和4年12月9日（金）13時30分～15時

会 場：高津市民館12階 大会議室

出席者：迎部会長、角田副部会長、田村委員、松崎委員、志水委員、仙北谷委員、佐藤委員

欠席者：渡部委員

事務局：坂尾館長、鈴木分館長、細谷係長、下間係長、高橋職員（記録）

傍聴者：なし

1 開 会（進行：下間係長）

・開催要件が満たされたことを確認。

・資料確認（下記、配布資料）

① 令和4・5年度 第3回社会教育委員会議高津市民館専門部会 次第

② 令和4・5年度 社会教育委員会議高津市民館専門部会 名簿

③ 川崎市社会教育委員会議規則 資料1

④ 令和4・5年度 第2回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録 資料2

⑤ 令和5年度からの市民館使用料 資料3

⑥ 令和4年度生涯学習支援課（高津市民館・橘分館）事業一覧 資料4

⑦ 令和5年度 高津市民館 市民自主学級・市民自主企画事業 募集案内 資料5-1

⑧ 令和5年度 高津市民館橘分館（プラザ橘）市民自主学級・市民自主企画事業 募集案内

資料5-2

⑨ 令和4・5年度高津市民館専門部会 調査審議事項（案）資料6

⑩ 高津市民館 事業チラシ「令和4年度高津市民館識字ボランティア研修」等

⑪ 橘分館 事業チラシ「シニアの社会参加支援事業」等

⑫ 高津市民館だより 第280号

⑬ プラザ橘だより No.140

2 館長挨拶

坂尾館長より、挨拶。

3 部会長挨拶

迎部会長より、挨拶。

4 議事事項（進行：迎部会長）

(1) 第2回専門部会摘録（案）について （資料2）
修正等あれば事務局まで連絡

(2) 使用料・手数料の見直しについて （資料3）
資料3に基づき、下間係長（事務局）より、説明。

令和5年4月より市民館使用料改定。

(3) 令和4年度高津市民館・橘分館事業進捗状況について

(資料4)

資料4に基づき、細谷係長より、事業内容について説明。

質疑応答

- 迎部会長 別の館では、ウクライナ情勢もあり戦争と平和の講座が開催されている。高津市民館では、戦争と平和に関する講座はあるのか。
- 細谷係長 今年度、高津市民館は、戦争と平和をテーマにした講座は開催していない。他館では、平和・人権・男女平等推進学習の枠で2館が実施している。1館は職員が企画し、もう1館は企画運営委員形式で進めている。高津市民館の今年度の平和・人権・男女平等推進学習は、パラリンピックに絡めて障がい者の人権をスポーツに視点を当て実情をとおして考えるをテーマとして開催した。
- 松崎委員 令和3年度と令和4年度の講座の申込状況の違いはあるか。
- 細谷係長 今年度の受講者数はすぐに定員になる講座もあり申込状況は良い。広報もしっかり行っている。令和3年度はまだコロナに対する危機感もあったが、令和4年度に入ってから市民の考えも外に出ようという人と「まだ早い」と慎重な人に分かれてきたように思う。
- 角田副会長 町会・自治会も実行する人と慎重な人に二分化しており難しい。
- 志水委員 地球温暖化防止活動推進センターでは、今年度の講座の参加は多かった。コロナで家にこもっていた人も出てきている。オンライン講座は、申し込みは多いが、実際には参加されない人もいる。主催者側も講座として成立するか不安がある。市内の学校向けの出前講座も昨年度は99校実施。学校側も受け入れ状況が良くなってきている。
- 佐藤委員 区内の小・中学校も今年度から、バザーやフェスタ等ほぼ全校で飲食なしの制限はあるものの、PTAや役員が中心で工夫のもと行い始めている。今年度から徐々に変わってきた。橘中学校では、3年生は、受験があるので参加に慎重である。資料4については、参加者数の計上があり、わかりやすかった。受講者に対する定員の計上もあると、受講状況がわかり良い。
- 志水委員 講座受講者のキャンセル率も分かると良い。
- 細谷係長 連続講座であると、都度、数値が変わる。
- 志水委員 連続講座でなく、単発的な講座のキャンセル率が分かると良い。
- 細谷係長 連続講座が多く、単発的な講座は少ないが、そのような講座については、キャンセル率を計上していきたい。
- 仙北谷委員 学校の学級閉鎖は、コロナなのかインフルエンザかわからない時期となっ

ている。

受講者数については、関心の数がわかるので良い。

迎部会長 コロナで亡くなる人もいるので、講座等の開催は体調等の注意が必要。

- (4) 令和5年度 高津市民館市民自主学級・市民自主企画事業 募集案内について (資料5-1)
令和5年度 高津市民館橋分館(プラザ橋)市民自主学級・市民自主企画事業 募集案内について (資料5-2)

資料4に基づき、細谷係長より、事業内容について説明。

質疑応答

迎部会長 市民館との連携が上手くいけば自主グループは育つ。

市民館には、自主グループの育成のサポートをお願いする。

- (5) 令和4・5年度高津市民館専門部会 調査審議事項について (資料6)

資料6に基づき、坂尾館長より、事業内容について説明。

前回の会議で皆さんからいただいた意見をもとに、調査審議事項として2つ提案します。

1つ目は市民が求める講座についてのアンケートです。現在講座受講者を対象としてアンケートを実施していますが、別にアンケートを行うと記入する人の負担になるので、別紙1の既存のアンケートのレイアウトを工夫して、空いたスペースに高津市民館独自の質問事項(赤字追記)として専門部会で追記する設問(案)を設けます。スペース的に2項目程度と思われる、「講座の情報を届けるにはどうすればいいか」と「どんな講座なら受けたいか」という2つを考えて、例として載せております。

いただいた意見は広報や事業の内容に反映していきたいと思えます。

2つ目は感染症予防のため控えてきた市民活動の再開のきっかけとなるような、また高津区の魅力を改めて発信する事業を実施します。普段市民館の事業に参加しない市民にも参加いただけるよう工夫し、そのような方からも講座受講者と同様に追加項目についてアンケートを実施します。

前回の会議の中で、調査審議事項については、市民館の事業について皆さんから意見をいただき、それを事業に反映させていくという方向性を確認させていただきました。市民館の事業には予算や会場に制約がありますので、今日は方向性について確認いただき、具体的な事業の内容については、市民館にお任せいただきたいと思えます。事業の内容については専門部会に報告させていただき、いただいた意見を内容に反映していきたいと思えます。

質疑応答

迎部会長 アンケートから市民館利用の皆様からの傾向を知りたい。

市民館を利用していない方の意見も聞く必要がある。

坂尾館長 利用していない方から意見を聞くのは難しいので、まずは利用している方から意見を聞く。

今まで講座を利用していなかった方が興味を持っていただけるような事業を実施

し、新たに講座を利用し参加につながった方からの意見も聞きたい。

迎部会長 10代は学校へ依頼、20代、30代はPTAへ依頼、50代、60代は受講者へ依頼すると数値は集まりやすい。

アンケートのテーマとしては、市民の元気が出て、暮らしやすい、学びの場、刺激を受ける市民館ではないか。

世代は絞った方がよい。

田村委員 アンケートをとるなら、まずは数が必要である。

どういう階層からどの位とるのかの具体的な目標が必要。

学校から、区PTAから、老人会から等。

戦略的にきちんと取り組んだ方がよい。

数としては、500、1000位は必要。

別紙1の(赤字追記)専門部会で追記する設問(案)問2)の設問は、抽象的でわかりづらい。

今迄行った講座をジャンル別に分けて設問する等、具体的な項目を設けた方がよい。具体的な要望が書けるヒントのある設問がよい。

50位の項目を設けて○をつける等も回答しやすい。

坂尾館長 スペースの問題と、統計、傾向というよりは、具体的な意見を聞きたいのであえて漠然とした設問を考えてみた。

イメージがわからないと書けないと思うので、設問の内容は工夫したい。

志水委員 アンケートは10代、20代は、紙のアンケートよりQRコードを利用しスマホからの入力のほうが楽だという人もいる。

紙だけでなく、回答しやすい方法等、ひと工夫が必要。

お礼として何かを差し上げると対象者が増える。

田村委員 紙のアンケートは手渡しが必要。

ネットを利用すると広範囲に集まる。

佐藤委員 集計もしやすい。

坂尾館長 ネットでの回答も検討したが、後での回答より、その場での回答の方が回収率があがると考えた。

志水委員 その場で、QRコードで回答する時間をとると、数も集まりやすい。

紙で回答したい方には、配布する。

コロナ禍でもあるので、手渡しよりよい。

佐藤委員 言葉で書いて欲しいのならば、より数が必要。

集計数が多いと、このコメントが多い・少ない等、傾向がわかる。

別紙1の問3)、問4)の設問に対しては、○をつけるだけでなく、記入欄があると、満足・不満等の具体的なポイントがわかる。

ホームページのアンケートでは、このページは、参考になったかの設問もあるので、この設問から、利用していない方からの理由等、意見集約のツールとなる。

迎部会長 これは、1回目の案として。2月に時間があれば再検討をお願いしたい。

坂尾館長 2月は、市民自主の選考があるため2月の再検討は時間的に難しい。

いただいた意見を参考に具体的な方法については、決めさせていただきたい。

迎部会長 分野と項目については、慎重に質問項目の検討が必要。

坂尾館長 こちらのアンケートは、講座受講者への全市共通のフォーマットとなっている。全市共通のアンケートに高津市民館の受講者を対象にアンケート項目を加えられないか、検討した。

空きスペースを利用すると考えると、2項目で一杯だと思う。

角田副会長 別紙1の（赤字追記）専門部会で追記する設問（案）は、現行のアンケートを流用して、講座受講者の記入をイメージしているが、皆様の意見としては、アンケートの対象を受講者に絞らずに受講者以外からもアンケートを実施した方が良いという意見である。今ある項目にこだわらずにねらいや対象や数を考慮しての起案が良い。

現行のアンケートの集計結果と活用についても聞きたい。

坂尾館長 アンケートについては、全市的に集計して、それぞれの事業ごとに傾向を分析している。

仙北谷委員 アンケート結果を期待したい。

会場が満員になる位の新しい切り口や視点のアンケート結果がぜひでてきて欲しい。

迎部会長 一度実施してしまうと後からの修正は難しいので、じっくりと検討して、来年度改めて提案して欲しい。

5 その他（進行：下間係長）

（1）今後の開催日程について

第4回専門部会

日程 令和5年2月25日（土）

時間 午後1時～5時

会場 プラザ橘第3・4学習室（予定）

※令和4年度市民自主学級・市民自主企画事業提案会・選考審査

※令和5年1月末に皆様にご案内を配布する。

6 閉会